



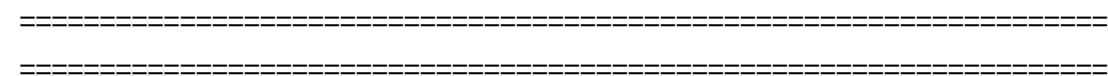
岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にのみお送りしています

第9号(2010年8月10日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室



前期試験も終わり、夏本番を迎えました。法学部だより第9号をお届けします。

今回は、6年間にわたり法学部の情報担当をされ、7月末で退職された久保田貴文先生から退職のご挨拶をいただきました。

コラムは海外からパリだよりの第4回と中国の内モンゴルからの留学生、張艶さんをお願いしました。

月2回程度発行している「法学部だより」ですが、8月は今号のみとさせていただきます。みなさん、楽しい夏休みをお過ごしください。

目次

- 退職のご挨拶
- パリ便り ～ソルボンヌからの風～ (第4回)
- 留学生の声 ～Voice of Foreign Students～ (第1回)
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題

○ 退職のご挨拶

☆ 久保田 貴文 (くぼた たかふみ) 助教

みなさんこんにちは。この7月31日で6年間在籍させていただきましたこの法学部を退職することになりました。ここでは、法学部生向けの「情報処理入門」の授業を3コマ担当し、学部のサーバーを管理・運用してきました。

もともと出身学部が法学部ではなく、理系からきた者ですので、直接的に法学部の授業やゼミを担当できませんでしたが、講演会・ホームカミングデーなどのイベントの補助やHPでの広報活動などを中心に活躍させていただきました。

8月からは自分の本来の研究テーマである「統計学」に関する研究所にて研究に邁進していく所存です。ここで培った仕事力・精神力が十分に発揮できることと思います。

最後になりましたが、在籍期間中私を支えていただいた執行部の諸先生方、情報委員会の諸先生方その他多くの先生方へのお礼にて退職の挨拶と替えたいと思います。いままで本当にどうもありがとうございました。

○ パリ便り ～ソルボンヌからの風～（第4回）

フランスの高校生は「哲学」と格闘する？

6月19日から25日まで、フランスではバカロレア試験（大学入学資格試験）が全国一斉に行われました。こちらは9月後半に新年度が始まるので、同試験も毎年この時期に実施されます。今年も約64万人の受験生がこの試験に取り組みました。

バカロレア試験は5日間にわたって実施されますが、なかでも注目を集めるのは初日の午前中に行われる「哲学」の試験です。同科目は、文系・理系にかかわらずすべての受験生が受験します。これは一見、日本の大学入試センター試験の「倫理」に相当すると思われるのですが、それとは内容も形式も全く異なります。試験は何より論文形式であり、また単なる暗記でもありません。試みに今年の問題を挙げてみましょう。法学部への進学を目指す学生の場合、「科学的真理は危険でありうるか?」、「歴史家の役割は裁くことか?」、「デュルケーム『道徳教育論』の抜粋（略）を説明せよ」の3問から1問を選択し、それを4時間かけて解答します。もちろん、感想文のような論述では全く不可です。受験生には、上記の問題の意図を適切に把握した上で、知識、論理、表現力を駆使して結論を示すことが求められます。なかでも論述においてとくに重視されるのが論理と引用です。受験生は著名な哲学者の言説の引用とそれへの解釈・批評を行いながら、自説の正当性を論証していきます。このように、哲学の試験では単なる知識だけでなく、修得した知識を活用して、自らの意見を他人に説得的に提示できるかが評価のポイントとなります。もともと、フランスの高校生にとっても哲学試験は簡単なものではなく、多くの受験生にとって鬼門となっているようです。

バカロレア試験で哲学科目が必修なのは、リセ（高等学校のこと）の最終学年に全教科の総仕上げとして「哲学」の履修が義務づけられているからです。授業では、教師が哲学の知識を一方向的に教え込むのではなく、「意識とは何か？」「時間とは何か？」などの根源的な問いを古今の哲学者のテキストを通して学んだり、さらには「独裁者を暗殺することは道徳的か？」などの具体的な問いを教師と生徒との問答を通じて考えたりします。そして、このような教育を支えているのは、優秀な教師陣の存在です。主に大学で博士号を取得した哲学教師がその任に当たります。また、ベルクソン、アラン、サルトル、そして近年亡くなったレヴィ・ストロースなど著名な思想家・哲学者が、かつてリセの哲学教師だったことは、よく知られています。フランスの哲学教育の伝統は、これから先も続いて行くのでしょう。

井上 武史 准教授

○ 留学生の声 ～Voice of Foreign Students～ （第1回）

私は岡山大学法学部に所属している留学生の張艶です。中国の内モンゴルのフフホト市から参りました。来日して初めて見た日本の都市は岡山でした。飛行機から降りて、しとしと降る霧雨と青々とした山と川を覆っている美しい景色に驚かされ感動しました。

それから、岡山外語学院で一年半日本語を勉強した後、岡山大学法学部に入りました。法学部を選んだ理由は、中国で法律を勉強していたので、今後中国の法律と日本の法律とを比較しながら研究したいと思って、法学部を選びました。確かに外国人として法律の専門用語を勉強できるかまた、日本語が大丈夫かなど、いろいろ心配していましたが、入ってみたら、先生たちもみんな熱心に指導して下さいますし、周囲の日本の学生も声を掛けてくれたり、ノートを貸してくれたりするので、来てよかったと思っております。特に私は国際法コースを主に習っています。先生方はほとんど留学の経験を持ち、授業時もよく気を配ってくれますし、授業後も親切に質問に答えて下さったり、相談に乗って下さいます。

本当に時間が早くたって、あっという間にもう3年生という感じでおります。

もちろん法律が最も難しい分野で、試験も格段に難しいと思います。多くの時間を図書館で過ごしたり、たくさん勉強しなければなりません。留学を選んだ私は勉強するのが当たり前のことでしょう（私はいつもそう考えて自分を慰めています～笑）。でも、法学部で勉強する間に、日本の裁判の光景を見た

り、国際公務員の仕事や経験を聞いたり、司法界の方々と話をしたりすることは、本当に一生忘れられないすばらしい経験になっていると思います。

では、もし、留学生の皆さん、このメッセージをご覧になったら、上手な日本語を是非身につけ、自信と勇気を持って、法学部を目指して、頑張りましょう。私も法学部を卒業して、法曹界を目指して頑張りたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

岡山大学法学部 3年生 張 艶

○ 法学部からのお知らせ

☆第3回 法学部ホームカミングデイのご案内

法学部では、今年度も下記の要領で、第3回のホームカミングデイを実施します。

今年は、1980年に岡山大学法文学部が分離改組し、法学部が設置されて30年を迎えます。小畑隆資先生には、法文学部の分離改組から、法科大学院、大学院社会文化科学研究科設置などの最近までの法学部をめぐる動きを整理しお話しいただく予定です。

今回も、在学生と卒業生が交流できる機会としたいと思います。事前の申し込みは必要ありませんので、どうかこぞってご参加下さい。

日時： 10月23日（土）午後3時～午後5時半

場所： 文化科学系総合研究棟 2階 共同研究室

プログラム

1. 法学部長挨拶
2. 講演：小畑 隆資 名誉教授
演題： 未定
3. 法学部の教育・研究から

懇親会： 午後6時～午後7時半

マスカットユニオン 3階

（参加費1000円 在学生は無料）

（問合せ先 法学部長室 （担当：柏原）電話：086-251-7470）

○ 最近の話題

☆平成 22 年度オープンキャンパスが開催されました。

8 月 7 日（土）午後 1 時半から、今年度の法学部オープンキャンパスが開催されました。当日は、連日の猛暑にもかかわらず、昨年を上回る 650 名余りの参加者がありました。オープンキャンパスでは、佐野法学部長の挨拶の後、法学部 DVD の放映、河原教務委員長による学部紹介があり、法学部 1 年生の町谷奈都葵さんと 4 年生の加藤太郎君が大学生活の様子を語ってくれました。第 2 部の質問コーナーにも例年を上回る参加者があり、法学部への関心の高さを感じることができました。

当日の様子は、後日、法学部の HP でも公開されますので、そちらをご覧ください。
(法学部 情報委員会)

☆ 社会文化科学研究科・法学部共催「日中国際ワークショップ」が開催されました。

8 月 6 日（金）午後 4 時から、中国・北京大学法学院教授の湛 中樂先生をお向かえし、「日中国際ワークショップ」が開催されました。岡山大学法学部と北京大学法学院は、学術交流協定に基づき、研究交流を実施していますが、今回は、湛先生に「中国『行政手続法』の立法モデルの選択について」と題して、行政手続法の制定に関わる中国の実情をお話いただきました。岡山大学側からは小山正善教授がコメントを加え、時間を延長して活発な議論が行われました。

当日の様子は、法学部の HP でも公開する予定です。(法学部長 佐野 寛)

.....

・本メールマガジンは、岡山大学法学部に関する情報を提供する目的で毎月 2 回程度配信されています。・岡山大学法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。岡山大学法学部 HP

<http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

・本メールマガジンには返信なさないようにお願いします。・本メールマガジンの配信を希望しない場合やメールアドレスの変更を希望される場合には、以下の URL からご登録・解除ください。

<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>

・ご意見・ご感想のある場合は、岡山大学法学部 情報委員会

joho@law.okayama-u.ac.jp までお願いいたします。

.....

